



一関市ベトナム訪問団 訪問の記録

2024/1/17~2024/1/22

一関市

目次

1	訪問日程	2
2	訪問の概要	3
3	訪問の記録	4
1	ハノイ電機短期大学（略称 HCEM ハノイ市）	4
2	ホアビン省（ホアビン市）	6
3	アーアル研究所ベトナム工場（ホアビン市）	9
4	ビンディン省（クイニョン市）	10
5	LIXILベトナム工場（通称 LIXIL VILA ドンナイ省）	12
6	在ベトナム藤沢会（ホーチミン市）	14
4	参考資料	16
1	ハノイ電機短期大学、一関市、一関商工会議所、一関工業高等専門学校との協定書	16
2	ホアビン市との友好関係に関する覚書	17
3	訪問時 一関市長のあいさつ	18
	ハノイ電機短期大学	18
	ホアビン省・ホアビン市	22
	アーアル研究所ベトナム株式会社	26
	ビンディン省・クイニョン市	30
	LIXILベトナム工場	34
	在ベトナム藤沢会	37

1 訪問日程

月日	時間	内 容
1/17 (水)	11:51	一ノ関駅発(やまびこ 58 号→仙台駅乗換→はやぶさ 18 号)
	14:08	東京駅着
	14:33	東京駅発(成田エクスプレス 33 号)
	15:23	成田空港着
	17:20	一関市ベトナム訪問団結団式
	18:00	成田空港発(日本航空 JL0751)
	22:30	ノイバイ空港着
	0:30	ハノイ市内ホテル着
1/18 (木)	8:30	ホテル発
	9:00	ハノイ電機短期大学 表敬訪問
	10:30	ハノイ電機短期大学発 移動(ハノイ市～ホアビン市)
	11:30	昼食
	13:15	ホアビン市人民委員会 訪問、友好関係覚書取交し
	14:55	ホアビン市発 移動
	15:00	ホアビン省人民委員会 表敬訪問
	15:40	ホアビン省発 移動
	15:50	アーアル研究所ベトナム工場 視察(ホアビン市内)
	17:05	アーアル研究所発 移動
	19:30	夕食
22:00	ハノイ市内ホテル着	
1/19 (金)	7:45	ホテル発
	10:45	ノイバイ国際空港発(HAN)(ベトナム航空 VN1623)
	12:45	フーカット空港着(UIH)
	13:30	昼食
	16:00	ビンディン省人民委員会 クイニョン市人民委員会 表敬訪問
	17:40	クイニョン市発 移動
	17:55	クイニョン市内視察

		ビンディン遺跡群・タップドイ (Tap Doi)
	18:00	ホテル着
	19:00	夕食
	21:00	ホテル泊
1/20 (土)	6:30	ホテル発
	9:15	フーカット空港発 (UIH) (ベトナム航空 VN1393)
	10:40	タンソンニャット国際空港着 (SGN)
	11:30	昼食
	13:30	LIXILベトナム工場(通称 LIXIL VINA)視察(ドンナイ省)
	15:30	クイニョン市発 移動
	17:30	日越教育交流事業参加者による交流事業プレゼン・文化紹介
	18:30	在ベトナム藤沢会とのディナーミーティング
	20:30	ホテル着
1/21 (日)	8:30	ホテル発
	9:00	ベトナム戦争証跡博物館
	10:00	ヴィンギエム寺(永厳寺) (Chùa Vĩnh Nghiêm)
	12:00	昼食:モリコカフェ - Miyama Restaurant Café ※在ベトナム藤沢会会員事業所 視察
	13:50	ベントイン市場
	15:00	AN's spa-Massage ※在ベトナム藤沢会会員事業所 視察
	17:30	一関市ベトナム訪問団 解団式 Landmark 81 (Haidilao Landmark 81)
	20:30	タンソンニャット空港へ移動
	23:40	タンソンニャット空港発 (日本航空 JL0070)
1/22 (月)	7:30	羽田空港着 解散

2 訪問の概要

(1) 訪問日程

令和6年1月17日(水)～22日(月)

(2) 訪問先

- ① ハノイ電機短期大学
- ② ホアビン市人民委員会、ホアビン省人民委員会
- ③ (株)アーアル研究所ベトナム工場
- ④ ビンディン省人民委員会、クイニン市人民委員会
- ⑤ LIXIL ベトナム工場
- ⑥ 在ベトナム藤沢会

(3) 訪問の要旨

令和5年10月に一関市、一関商工会議所、一関高専と協定を締結した「ハノイ電機短期大学」を訪問するとともに、今後の連携を模索するためベトナム国の地方行政機関を表敬訪問、在ベトナム藤沢会との意見交換を行う。

(4) 一関市ベトナム訪問団構成員 (17名)

	所属	氏名
団 長	一関市長	佐 藤 善 仁
副団長	一関商工会議所会頭	小 岩 邦 弘
副団長	一関工業高等専門学校校長	荒 木 信 夫
副団長	一関市議会議長	勝 浦 伸 行
団 員	一関市議会議員	門 馬 功
団 員	(株)アーアル研究所 代表取締役	小 川 晃 弘
団 員	(株)一関 LIXIL 製作所 総務課長	川 堀 真 俊
団 員	公益財団法人岩手県南技術研究センター 業務執行理事 所長	佐 藤 昭 規
団 員	(株)ウェーブブロック・アドバンスト・テクノロジー 取締役兼執行役員兼一関工場長	井 関 広 平
団 員	(株)金澤電気工業所 代表取締役	金 澤 英 治
団 員	(株)佐々木組 代表取締役	佐々木 一 徳
団 員	東里工業(株) 代表取締役	高 橋 政 智
団 員	一関商工会議所 経営支援課 課長補佐	金 野 剛 士
通 訳	(株)HIKARI 代表取締役	グエン・コン・フィン
随 行	一関市商工労働部長	今 野 薫
随 行	一関市工業労政課労政係長	小野寺 淳 子
随 行	一関市交流推進課交流推進係長	野 本 浩 司

3 訪問の記録

① ハノイ電機短期大学（略称 HCEM ハノイ市）

訪問目的

令和5年10月にHCEM、一関市、一関商工会議所、一関工業高等専門学校との4者で連携協定を締結。

協定締結の御礼、挨拶を行うとともに協定に基づく連携事業について意見交換を行う。



懇談概要

HCEM学長から

- ・ 2024年に統合により学生1万人となり、日本語学科も新設する予定。
教育分野48分野で、工業、農業、IT、経済など多岐にわたる一番大きい電機短期大学になる。
- ・ 学長として11年目、学生達が卒業してから就職できるかが大事だと考える。
- ・ 現在学校に対し、中国、韓国、台湾、ドイツからアプローチがある。しかし、学生の興味が高いのは日本であることが多い。このことから、希望する学生には早めに日本語を開始する。
- ・ 現在日系企業、特にデンソー、トヨタや愛知県、他の大手企業に協力いただいております。学生には非常にメリットがある。
- ・ 学長として、どのようにしたら学生の質が高められるかを考えてきた。協定などを通して学生の質の向上に繋がればと考えており、今回の4者協定には非常に期待している。
- ・ 協定について、ハノイ市内の工業会などの皆さんから賛同いただいている。
また、所管大臣の指示で、今回の協定が成功したら市内にある専門学校や工業会に広めてほしいと言われている。
- ・ 一関高専には2年程度の留学生を出したい。学生のVISAが必要で在ベトナム日本大使館の協力も期待する。
- ・ 就職先としては、日本での就労、またはベトナム国内の日系企業に就職できると良いと考えている。
- ・ 本校の学生に多くのチャンスがあるよう、高専との協力、現地の企業との繋ぎなどを商工会議所と連携していきたい。
- ・ 佐藤市長はじめ皆様に感謝申し上げますとともに、今回の一関市訪問団の訪問はとても嬉しい。

一関商工会議所会頭から

- ・ 今回の協定を通じて、国境を超えた情報共有や人材交流、新技術や知識の習得、お互いの強みを生かしたビジネスチャンスの創出などが出来るよう、ぜひ活かしていきたい。

一関市内には、ベトナムに進出している企業もあり、市内企業について、HCEMの学生に知ってもらいたい。

一関高専校長から

- ・ 一関高専では学生をHCEMに短期留学させる計画を持っている。

1週間から10日間程度で今年の夏から実施したい。現在、短期留学に係る国の支援制度に申請中である。

HCEM学長から

- ・ 一関高専から頂いた意見について同意する。

ぜひ、今年7月から交流したい。併せて、職員の皆様の交流も併せて検討をしてほしい。今年の桜の時期に担当職員を派遣し一関市を訪問したい。一関高専、各機関、企業などの訪問をして、意見交換ができれば良いと考えている。

- ・ 訪日する際に、ベトナムでは大臣に報告する必要があるため、日本からの招待状が早めにほしい。

その他

- ・ 懇談後、学生の授業の様子を見学した。

実践的な学習と一定程度のレベルが確保されているとの感想であった。

一関市長から

- ・ HCEM、一関市（一関商工会議所、一関高専）双方の発展につながる話があった。一関高専からHCEMへの学生の派遣、HCEMの一関市への招待について、帰国してから検討のうえ連絡したい。

まとめ

- ① 連携協定締結の当事者4者が直接面会し、協定締結の御礼と意見交換を行うことができた。
- ② 連携協定に基づき、HCEMと一関高専の学生間交流について、意見交換し合意することができた。HCEMは長期留学、一関高専は短期留学を希望し、基本的に合意に達した。
- ③ HCEMの学生担当職員を一関市に派遣させ、高専や市内企業を視察したいので、一関市から招待状の送付を検討してほしいとの要望を受けた。（ベトナム国に報告する必要があるため）

2 ホアビン省（ホアビン市）

訪問目的

株式会社アーアル研究所ベトナム工場が立地している縁から、ホアビン省（ホアビン市）を表敬訪問し、本市との連携協力やベトナムの経済・労働の情勢や若者の就労意向などについて意見交換を行う。



ホアビン省の仲介をお願いしている(株)アーアル研究所から、昨年12月末にホアビン省の公式文書で受入目的が次のとおり伝達された。

・一関市訪問団歓迎の目的

- ① 党、国家、ホアビン省およびホアビン市の外交任務を成功裏に完了する。
- ② ベトナムと日本の友好関係を強化する。
- ③ ベトナム・ホアビン省ホアビン市と日本国岩手県一関市との友好関係覚書を締結する。

一関としては、このホアビン省の意向が示されたことから、表敬訪問の目的に加え、友好関係覚書の取交しを行うこととし訪問を行った。

訪問概要

- ・ホアビン市人民委員会庁舎に向かう車両は、ホアビン省警察車両が先導し、沿道は警察による通行規制がとられた。
- ・ホアビン省側の出席者は、
省党常務委員会、省人民委員会指導者、各局・部門の指導者：
省党委員会事務局、省人民委員会事務局、計画・投資局、財務局、内務局、建設局、資源・環境局、農業農村開発局、商工局、文化・スポーツ・観光局、労働・傷病兵・社会局、公安局。
各部門のリーダー：投資・貿易・観光促進センター、工業団地管理委員会
- ・ホアビン市側の出席者は、市党常務委員会、市人民委員会指導者
各部の部長：都市管理部、資源・環境部、経済部、財政・計画部、教育・訓練部、内務部、労働・傷病兵・社会部、文化・情報

ホアビン省から

- ・ホアビン省からは、日本とベトナム国の国交51年目を迎え、ベトナム共産党、省が日本国ともっと強く長く友好関係を持つことを望む旨のあいさつがあった。
- ・ホアビン市長からのあいさつでは、ホアビン省人口80万人、うちホアビン市14万人であることを紹介、ホアビン市に主要国道沿いに3つの工業団地を擁しているほか、新しく工業団地を造成予定であり5年かけて拡大する。
- ・市内にゴルフ場を建設予定で、合計10か所になる予定であり、88万人の観光客が訪れている。
- ・日本への技能実習は416人である。
- ・産業は、農業が中心、農作物の貿易、農業技術指導などの支援を受けたい。

- ・アーアル研究所などに貢献してもらっているが、更なる工業化や社会インフラの高度化を進めたい。
- ・ホアビン省は、これらを進めるにあたり、一関市のようなまちづくりを参考にしていきたい。ホアビン市の発展のため一関市から勉強をさせていただきたい。

一関市長から

- ・アーアル研究所がきっかけとなり本覚書の運びとなった。
- ・このような交流の形は日本とベトナムを繋ぐ一つのモデルになると考えている。
今現在、ホアビン市に何かをお願いするといったものは持ち合わせていないが、アーアル研究所のようにベトナムの方が一関で働いたり、一関市の事業所がベトナムに進出したりできるような環境づくりを進めていきたいと考えている。
- ・本日の覚書の取交しは、友好関係をこれから築いてくスタートラインに立ったものとして認識している。具体的な方策や時期については、これから友好関係を深めていく中で話し合っていきたい。

その他

- ・ホアビン市との友好関係覚書の取交しの後、ホアビン省人民委員会庁舎に案内され、表敬を行うとともに贈答品の交換を行った。

まとめ

- ① ホアビン市（ベトナム）と一関市（日本）との友好関係に関する覚書の提示を受け、双方合意の上、署名し取交しを行った。

友好関係に関する覚書の内容

第1条 連携協定の内容

- 1 両者は、両国の関連法律に基づいて人材育成・労働力開発における協力を促進することに同意する。
- 2 両者は、相互の関心のある分野で、ベトナム人技術者、エンジニア、技術研修生・技能実習生、熟練労働者、職業訓練のための留学生の送り出しと受入れを共同で推進する。
- 3 両者は協力し、ホアビン省全般、特にホアビン市の工業団地および工業クラスターにおける投資プロジェクトの誘致を促進する。

第2条 両者は、人材育成・労働力開発の協力実施中に、以下の提案を引き続き研究し、検討する。

- 1 農業分野における開発の協力を促進する。特に農業技術、生産技術、農産物の加工と保存における技術交換、農産物の輸出である。
- 2 観光、文化、スポーツ、医療、科学技術など、他の分野における協力を促進する。
- 3 両者の友好関係を強化し、両国国民間の友好関係・文化交流を拡大し、両国のビジネス界間の協力を奨励する。

第3条 協力の原則

- 1 両者は、詳細の活動について協議した上で、技術者、エンジニア、技術研修

生・技能実習生、熟練労働者、職業訓練のための留学生の送出しと受け入れをする具体的なプロセスを検討し、第1条に記載の合意内容を実施する。

- 2 両者間の協力内容の実施は、ベトナム社会主義共和国および日本国の法律および関連規制の尊重に基づいて実施される。

第4条 連絡窓口

- 1 ベトナム社会主義共和国ホアビン省ホアビン市：ホアビン市人民委員会。
- 2 日本国岩手県一関市：一関市商工会議所（誤訳）商工労働部のこと

第5条 規約と運用

- 1 協力の内容、分野、その他の詳細項目は、両者が具体的な合意文書により表明する。
- 2 本覚書の有効期限は本覚書締結の日より1年間とする。なお、本覚書は、期間満了日の3か月前までにいずれの当事者から何らの意思表示なき場合、同じ条件でさらに1年間自動的に更新されるものとする。
- 3 両者は、本覚書の運用を定期的に見直し、評価する。本覚書の解釈、適用、または運用に関連する紛争は、両者間の協議を通じて友好的な解決を図る。

- ② 引き続き(株)アーアル研究所の協力を得ながら、覚書の基づき友好関係を構築していくための協議を進めていく。
- ③ 相互理解を深めていくため、ホアビン市の一関市への訪問視察を模索していく。

3 アーアル研究所ベトナム工場（ホアビン市）

訪問目的

市内大東町に本社がある(株)アーアル研究所のベトナム工場を視察し、外国人材及びベトナムのビジネス情勢に関して説明を受けるとともに、現地事業についての意見交換を行う。



工場内視察

- ・ アーアル研究所ベトナム工場視察を中心とした訪問となった。
- ・ 工場の説明を短縮し、工場内視察の時間を多めに配分した。
- ・ ベトナム工場は、従業員 650 人で日本人 スタッフ は 4 人である。
- ・ 日本人スタッフは、大東町の本社から 3 年程度の派遣としているが、現工場長は 11 年となっている。
- ・ 2002 年にベトナム工場を操業開始して 22 年目となる。
- ・ 当時は、周辺に何も無い原野を開拓して整備を進めた。
- ・ 現在も工場の拡張するための設備投資を行っている。
- ・ ベトナムの国の国内法が突然改正されることもあり、注意が必要である。
- ・ ベトナム人の風習に合わせた食堂や休憩施設を整えている。



まとめ

- ① ベトナムの賃金水準の上昇率は高いが、日本と比べてまだ低賃金であり、若年層人口もまだまだ多い。
- ② 明るく朗らかな性格の人が多く、心理的に気持ちが良い。文化も理解しやすい。
- ③ 細かな許可規制は少ないが、その規制やルールがわかりにくいというえ、法令規制が突然厳しくなったり、その解釈が一定ではないことがある。
- ④ インフラ単価は日本の約半分。土地建物にかかるコストも日本と比べるとかなり安い（ただし現在は急激な値上がり傾向にある）。

4 ビンディン省（クイニョン市）

訪問目的

市内企業経営者の紹介により日本国内の自治体との連携意向のあるビンディン省（クイニョン市）を表敬訪問し、当市との連携協力やベトナムの経済・労働の情勢や若者の就労意向などについて意見交換を行う。



訪問概要

ビンディン省から

- ・ 事前に関市の情報を調べた。自然がとても綺麗で文化レベルが高いと感じた。そのような関市訪問団を歓迎する。
- ・ ビンディン省（省都：クイニョン市）の概要説明。



地方 南中部沿岸地方

面積 6,051 km²

人口 1,508,320 人(2021 年)

民族 キン（ベト）族、チャム族、バナ族、フレ族

気候 熱帯モンスーン気候に属し、雨季(9月～12月)と乾季(1月～8月)を有する。年間平均降水量は：2000～2400 mm

1月の平均最高気温は25℃、平均最低気温は20℃

地理 南中部沿岸地方に位置し、東は南シナ海に面する全長134キロの沿岸線となっている。ホーチミン市から北に約649キロ、ハノイ市から南に1,065キロに位置する。

経済 全長134キロの海岸線を有しており、サバ、マグロ、ニシン、アンチョビ、トビウオ、イカ、タラバガニなどの海産物がとれる、漁業だけでなく港湾、海運といった海洋経済開発に適した自然環境にも恵まれている。

国際港湾クイニョン港は、積載量2万～3万tの船舶の寄航が可能。

この他、国内港湾ティナイ（Thị Nại）港がある。陸路（道路・鉄道）、水路、空路が発達しており、南中部高原地方、カンボジア東北部、タイ東北部、ラオス南部から国道19号線、またクイニョン港からは南シナ海への往来が容易で、これらの発達した交通インフラが経済開発において大きなアドバンテージとなっている。

市街地の南側にはビーチが広がっており、近年リゾート開発が進んでいる。

2023年の経済成長率は7.61%で64省中7番目の高さ。経済の発展は、ベトナム国の省の中でトップクラス。中部地方では一番である。広告などによりイメージアップを図り、投資を呼び込みたい。

日本とは、大阪府泉佐野市、奈良県吉野市との連携協定を締結しており、昨年5月にビンディン省関係者が日本を訪問した。

我々は大手企業の投資を歓迎する。海外企業は19社進出しており、縫製、木材生産、水産業などのベトナム人の雇用を創出し、94億ドルの税金を納付

した。

ビンディン省は、海外への労働者の派遣 846 人のうち、日本への派遣は 764 人（約 9 割）である。

一関市長から

- ・ 歓迎に感謝する。一関市は、自動車産業、半導体産業の集積している地域に近接している。これらに関連する電機、機械などの産業が盛んで、ベトナム人の若者にこれらの技術を習得してもらいたい。
- ・ また、一関市では 3 年から 5 年後には日本語学校の設立を目指している、市として支援をしていく。
- ・ ビンディン省の若者には、ストレートに一関市に来てもらいたい。技能実習や特定技能における本人負担額を軽減することができる。また、技能習得後、都会を経由することなくストレートにビンディン省に戻ることを推奨したい。

ビンディン省から

- ・ 今度は我々が一関市を訪問したい。国の方針、許可がないと訪問できないので、一関市から招待をいただきたい。

その他

- ・ 意見交換終了後、公開時間外にもかかわらず、特別にビンディン遺跡群・タップドイ (Tap Doi) を案内いただいた。

タップドイは、クイニョン市の西部、街外れの住宅地にある。ビンディン遺跡群の中で最も開けた所にある遺跡で、そのためよく手入れされており、緑も多く、有料の公園のようになっている。

まとめ

- ① ビンディン省は、一関市との連携について前向きな意向を示した。
- ② ビンディン省から海外への労働者のうち、日本に来る若者の割合が高い。
- ③ ベトナム中部における発展が見込まれる有望な地域であることが確認でき、今後友好関係を構築していく相手として好感触を得た。
- ④ ビンディン省では、一関市への訪問視察を希望していることが伝えられた。

5 LIXILベトナム工場（通称 LIXIL VILA ドンナイ省）

訪問目的

市内東工業団地にも立地しているLIXILのベトナム工場（ロンドゥック工業団地）を視察し、外国人材およびベトナムのビジネス情勢に関して説明を受けるとともに現地事業についての意見交換を行う。



工場視察

- ・ ロンドゥック工業団地（LONG DUC INDUSTRIAL PARK）は、双日株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社神鋼環境ソリューション、ドナフード（国営食糧公社）が開発したドンナイ省にある工業団地。
- ・ ロンドゥック工業団地は、ベトナムにおける製造拠点として、ホーチミン市から東へ約40kmに位置し、陸路、海路、空路ともに理想的なロケーション。2025年に団地から約40kmの位置に国際空港が開港予定であり利便性が増す。
- ・ 本工業団地立地企業64社中、日本企業が56社を占めている。
- ・ LIXILベトナムは、2012年現地法人立ち上げ10年が経過した。敷地面積55ha、建築面積12.5ha。
- ・ 主な生産品目は、住宅やビルのサッシ、ドア、エクステリアなど。
- ・ 生産品目は日本向けエクステリア85% 海外ベトナム国内向け15%、海外ベトナム国内向けは、サッシ、産業品など鋳造から加工までの一貫生産・加工工場。
- ・ 工場は1,300人ほどの従業員で、そのうち32人が日本人。
- ・ 工場の平均年齢は32歳で、若者が多く活気がある。
- ・ 定年は55歳であるが、最高齢者は50歳を少し過ぎた程度。
- ・ 賃金は月3～4万円程度であるが、40歳くらいのリーダークラスは30万円程度。大方の従業員は、工場周辺のドンナイ省周辺からバイクで通ってくる。幹部クラスになるとホーチミン市の都会から通勤することが多い。
- ・ ベトナム人に工場内での現場を任せ、リーダーを中心に改善を行っていることが自主性、主体性の育成につながっている。
- ・ 印象としてベトナム人では女性の方が業務に対する意識が高い傾向にある。
- ・ 自分たちで工夫し考え、協力し合う作業はベトナム人は、非常に得意である。
- ・ 高収入となると、投資のサイドビジネスをすることが多い。
- ・ 退職採用のサイクルが激しく、賃金が高い求人があると、すぐに転職するので年間で30%程度が退職する。よって3年で職員が入れ替わるイメージ。
- ・ 求人は、以前は工場の掲示（横断幕）などであったが、最近はインターネットにより情報を得ている。
- ・ 日本では構造的に慢性的な人手不足であるが、ベトナム国では人手が足りないことはない。求人での賃金の金額の出し方（月給、ボーナス、手当などの提示の仕方）により人は集まる。退職後、また求人に応募しに来ることもある。
- ・ ベトナム政府の方針により、産業人材の育成や労働安全衛生の向上のため学校での工場視察が奨励されている。

- ・ 日本では考えられないが、産前の従事や産後も早く復職している。当工場では加工に妊婦の方 80 人従事、生んだあともすぐ出てくる。
- ・ 託児所は置いていない。家族で住んでいるのでおばあちゃんが見ていることが多いようだ。
- ・ ベトナム人は、集まってイベントを行うのが基本的に好きである。福利厚生事業の親睦旅行などの出席率が高く、家族を大切にす文化なので同行するが多い。
- ・ 食堂はすべて無料で提供するの、ベトナム国ではスタンダード。
- ・ めまぐるしく法律が変わることは要注意。コロナ禍では政府から 4 か月間の外出禁止命令が出たので、工場の従業員は工場内に寝泊まりして操業を続けた。
- ・ ストライキは、3～4 年位前まで実施されていたが現在はない。

工場見学

- ・ 従業員の方に、「やっていて楽しいと思うことは何か」質問したところ、従業員同士が家族のように仲が良くて嬉しい。カイゼン活動の成果が出るのが楽しい、この工場のノウハウをベトナムに広げていくことでベトナム全体の成長につながるのではないかと考えている。

まとめ

- ① ベトナム国は、現在でも低賃金の労働力の確保には適している。
- ② ベトナム人の自主性、主体性を生かして業務を進めていくことにより生産性の向上を図ることが可能である。
- ③ 終身雇用の考えはなく転職に抵抗感はないことから、福利厚生事業をベトナム人の気質や風土に合ったものを実施することにより、労使の信頼関係の構築に重要な役割を果たす。



6 在ベトナム藤沢会（ホーチミン市）

訪問目的

在ベトナム藤沢会は、平成8年に旧藤沢町国際交流協会が、ホーチミンの学生を旧藤沢町に招き開始した「日越教育交流事業」に参加したメンバーで組織された団体である。

その会員は、現在126名おり、ベトナムや日本などで活躍している。そのネットワークにより、ベトナムの若者の動向、労働環境、雇用情勢など経済の状況について現地情勢の情報交換、意見交換を行う。

交流内容

- ・ 在ベトナム藤沢会員12名を招待し、訪問団員とのディナーミーティングを実施
在ベトナム藤沢会会長から、これまでの交流事業の経緯や活動内容についてのプレゼンテーションと、令和5年度日越交流事業に参加した学生から文化紹介が行われた。
- ・ 日越教育交流事業は、1996年（平成8年）、旧藤沢町国際交流協会がベトナムの学生を旧藤沢町に招聘し、日本語を学ぶ機会の提供と地域の方々との交流を通じて日本の文化に触れる機会を提供するために教育交流事業をスタートした事業。現在は、一関市国際交流協会が事業を引き継いでいる。
- ・ 令和5年度の事業で26回目となり、参加した学生の総数は126名（男性30名、女性96名）。連絡が取れる会員は、126人のうち90名くらい。90人のうち、20人は現在日本に留学と就職、東京：14名、横浜：1名、一関：1名（館ヶ森アーク牧場の社員）、大阪：1名、青森：2名、広島：1名。ベトナム在住は70名ほど。
- ・ Morico 副社長（レストラン・カフェ等を10店経営）と Lanchars 社プロダクションマネージャー（ハーブ製品の生産販売加工）から経営会社の説明を受けた。
- ・ 在ベトナム藤沢会の活動は、文化交流事業（一関市との交流）、メンバーネットワークでの助け合い（就職・生活など）、メンバー交流活動（忘新年会・交流会など）などであり、今後の活動としては、日越教育交流事業の継続のほか、経済交流などを期待している。
- ・ ホストファミリーとの交流を大事にしており、今でも、ホストファミリーとの交流が続いている会員が多い。
- ・ ディナーミーティングの翌日に在ベトナム藤沢会の会員が経営している Miyama Restaurant cafe と AN' s SPA を訪問し現地視察。Miyama Restaurant café では、一関市産の豚肉（館が森ポーク）を取り入れたメニューを提供している。
- ・ いちのせき大使の委嘱状交付
在ベトナム藤沢会会長チャン・チュン・ユン氏に委嘱。（4人目の委嘱）
ユン氏は、在ベトナム藤沢会会長として長年にわたり一関市とベトナムの交流事業に携わっており、市の魅力を主にベトナムにおいて広く発信するとともに市のイメージアップ及び知名度の向上をしていただける方である。
- ・ ユン氏の自宅訪問では、一関市からの感謝状や記念品を大切に玄関に飾っており、市や交流事業に対して強い気持ちを持っている。



まとめ

- ① 若い学生が交流事業を通じて、日本の文化や生活を体験し、見聞を広めることで、ベトナム国内で起業を行い、事業を成功させている会員が多いことを再確認できた。
- ② 会員は、ベトナム国内で事業を経営者している者が多く、日本で学んだ文化や考え方を自社の商品やメニューに取り入れた商品開発を行っており、その商品を通じて、ベトナム人に日本文化の紹介を行いたいと考えている。また、日本の食材などを取り入れたメニュー開発も行っており、農産物の輸入などにも関心を持っている。
- ③ 令和5年度の交流事業に参加した学生は、日本に関心や興味を持ち、日本への留学が決定し、日本での勉強を継続することとなった。
- ④ 会員のうち75%が女性である。ベトナム人の若い女性の活躍が目立っている。
- ⑤ 日越教育交流事業に参加した学生は、日本の文化や生活を体験し、ホストファミリーとの強いつながりを持つことにより、日本に対して強い関心や興味を持っている。また、日本に対して何か協力したいとの気持ちも持っている。
- ⑥ 日越教育交流事業は、旧藤沢町国際交流協会が長年継続してきた事業で、現在は一関市国際交流協会が実施している事業ではあるが、在ベトナム藤沢会及び一関市にとっても重要な事業であることを再確認した。
- ⑦ 在ベトナム藤沢会ユン会長に「いちのせき大使」を委嘱し、力強い協力をいただけることを確認した。



4 参考資料

1 ハノイ電機短期大学、一関市、一関商工会議所、一関工業高等専門学校との協定書

協定書 (Japanese)

HCEM と一関市，一関商工会議所および一関高専は，各機関の関係性を深め，人材育成や教育，研究等の分野において文化的，学術的な交流を促進し，包括的に協力して活動することに同意する。

1. 協力する分野には，各機関の協力関係を発展させ，強固とするために望ましく，かつ実現可能と考え得る各機関や国から提供されるプログラムが含まれる。いずれのプログラムの実施も各機関の同意，資金の可用性，双方の承認による。そのようなプログラムとして，以下を含む。
 - (1) 人材育成に関すること
 - (2) 高度人材の派遣，受入，雇用に関すること
 - (3) 学生の交流に関すること
 - (4) 教職員の交流と教育および研究に関すること
 - (5) 国際交流に関すること
 - (6) 産学官連携に関すること
 - (7) 地域産業の振興に関すること
2. 前項の各事項の相互支援や協力の期間は，プログラムが開始される前に，別途書面に基づいて責任ある役職者により検討される。
3. この合意は，双方の承認から 5 年間有効とされる。ただし，有効期限満了の 6 ヶ月前までに各当事者からの通知がなければ，1 年間更新され，それ以降も同様とする。有効期限内といえども，各当事者は 6 ヶ月前の通知により本協定を解除することができる。
4. この協定は，ベトナム語,日本語および英語により各 4 部作成し，そのいずれも等しく正文である。

2 ホアビン市との友好関係に関する覚書

ホアビン市（ベトナム）と一関市（日本）との 友好関係に関する覚書

ベトナム社会主義共和国と日本との戦略的パートナーシップを強化し、ホアビン市と一関市との互惠協力を促進することを目的として、ベトナム社会主義共和国ホアビン省ホアビン市人民委員会と日本国岩手県一関市（以下「両者」という）は、次のとおり覚書を締結する。

第1条 連携協定の内容

- 1 両者は、両国の関連法律に基づいて人材育成・労働力開発における協力を促進することに同意する。
- 2 両者は、相互の関心のある分野で、ベトナム人技術者、エンジニア、技術研修生・技能実習生、熟練労働者、職業訓練のための留学生の送り出しと受け入れを共同で推進する。
- 3 両者は協力し、ホアビン省全般、特にホアビン市の工業団地および工業クラスターにおける投資プロジェクトの誘致を促進する。

第2条 両者は、人材育成・労働力開発の協力実施中に、以下の提案を引き続き研究し、検討する。

- 1 農業分野における開発の協力を促進する。特に農業技術、生産技術、農産物の加工と保存における技術交換、農産物の輸出である。
- 2 観光、文化、スポーツ、医療、科学技術など、他の分野における協力を促進する。
- 3 両者の友好関係を強化し、両国国民間の友好関係・文化交流を拡大し、両国のビジネス界間の協力を奨励する。

第3条 協力の原則

- 1 両者は、詳細の活動について協議した上で、技術者、エンジニア、技術研修生・技能実習生、熟練労働者、職業訓練のための留学生の送出しと受け入れをする具体的なプロセスを検討し、第1条に記載の合意内容を実施する。
- 2 両者間の協力内容の実施は、ベトナム社会主義共和国および日本国の法律および関連規制の尊重に基づいて実施される。

第4条 連絡窓口

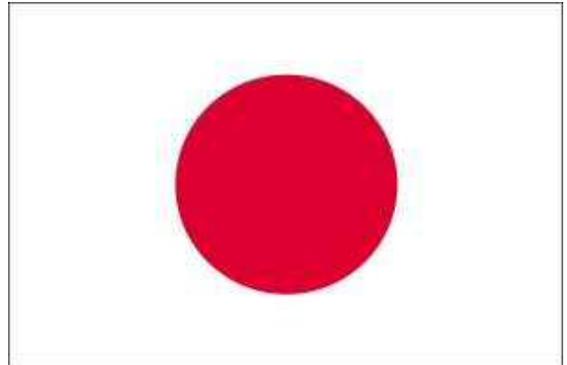
- 1 ベトナム社会主義共和国ホアビン省ホアビン市：ホアビン市人民委員会。
- 2 日本国岩手県一関市：一関市商工会議所（誤訳）商工労働部のこと

第5条 規約と運用

- 1 協力の内容、分野、その他の詳細項目は、両者が具体的な合意文書により表明する。
- 2 本覚書の有効期限は本覚書締結の日より1年間とする。なお、本覚書は、期間満了日の3か月前までにいずれの当事者から何らの意思表示なき場合、同じ条件でさらに1年間自動的に更新されるものとする。
- 3 両者は、本覚書の運用を定期的に見直し、評価する。本覚書の解釈、適用、または運用に関連する紛争は、両者間の協議を通じて友好的な解決を図る。

3 訪問時 一関市長のあいさつ

ハノイ電機短期大学



ハノイ電機短期大学の皆様への一関市長あいさつ

Lời chào của Chủ tịch Thành phố Ichinoseki gửi đến Trường Cao đẳng cơ điện Hà Nội

◆はじめに

本日は、一関市訪問団のためにお時間をいただき感謝申し上げます。

私は、今回の訪問団の団長で、一関市長の佐藤善仁（さとうよしひと）です。

皆さんと再会できてとても嬉しく思います。

昨年7月にハノイ電機短期大学（HCEM）を訪問した際、ゴック学長様から連携協定の提案をいただきました。帰国後、関係者のご理解とご協力により10月にはHCEMと一関市、一関商工会議所、一関工業高等専門学校との4者による協定を締結することができました。

まずは、学長様始め関係各位に感謝申し上げます。

訪問団は、連携協定締結をしている一関商工会議所会頭、一関工業高等専門学校校長、一関市議会議長を含め、一関市内の会社経営者、市議会議員が参加しており、総勢17名であります。

前回の訪問時に通訳を務めていたグエン・コン・フィン氏は、「いちのせき大使」として今回も同行をお願いしています。いちのせき大使は、言い換えれば「在ベトナム日本国一関親善大使」のようなイメージです。一関市の魅力を日本国内だけでなく、ベトナムを始め国際的にも広く発信するとともに、市のイメージアップ及び知名度の向上を図るため委嘱しているものです。

◆Lời nói đầu

-Tôi xin gửi lời cảm sâu sắc nhất đến Trường đã giành thời gian đón tiếp đoàn thành phố Ichinoseki ngày hôm nay.

-Tôi là Sato Yoshihito Thị trưởng Thành phố Ichinoseki, với tư cách là trưởng đoàn ngày hôm nay.

-Tôi rất vui khi được gặp lại mọi người ngày hôm nay.

- Khi tôi đến thăm Trường Cao đẳng cơ điện Hà Nội (HCEM) vào tháng 7 năm trước, Ngài Hiệu trưởng Ngọc đã đề xuất ký thỏa thuận hợp tác. Sau khi trở về Nhật Bản, nhờ sự hỗ trợ hợp tác của tất cả các bên liên quan. Chúng ta đã ký kết thỏa thuận hợp tác 4 bên giữa HCEM, Thành phố Ichinoseki, Phòng Thương mại và Công nghiệp Ichinoseki và Trường Cao đẳng Công nghệ Quốc gia Ichinoseki vào tháng 10.

-Trước hết, tôi muốn bày tỏ lòng biết ơn tới Ngài Hiệu trưởng và tất cả những thành viên liên quan.

- Phái đoàn lần này có tổng 17 người, trong đó có Chủ tịch Phòng Thương mại và Công nghiệp Ichinoseki, hiệu trưởng Trường Cao đẳng Công nghệ Quốc gia Ichinoseki, Chủ tịch Hội đồng Thành phố Ichinoseki, các quản trị doanh nghiệp và các thành viên hội đồng thành phố Ichinoseki.

- Hơn nữa, đồng hành cùng chúng tôi lần này có Ông Nguyễn Công Huỳnh với tư cách là “Đại sứ Ichinoseki”. Nói cách khác, Đại sứ Ichinoseki mang hình ảnh “Đại sứ hữu nghị Ichinoseki của Nhật Bản tại Việt Nam”. sinh sống tại thành phố Ichinoseki từng làm thông dịch viên trong chuyến thăm trước đó. Với mục tiêu quảng bá sức hấp dẫn của Thành phố Ichinoseki không chỉ ở Nhật Bản, ở Việt Nam mà còn trên trường quốc tế, đồng thời nâng cao hình ảnh và sự yêu mến của thành phố.

◆一関市の現状 ※ 数値は 2024.1.1 時点

一関市の人口 107,564 人のうち市内に住んでいる外国人は 1,145 人で、市の人口の約 1%を占めています。そのうちベトナム人は 277 人で、外国人の 4 人に 1 人はベトナム人という状況です。

四季があり自然に恵まれた温暖な気候で、農業と製造業・サービス業が中心のまちです。

新幹線や高速道路が整備され、インフラは充実しています。

◆Hiện trạng Thành phố Ichinoseki ※ Cập nhật thông tin Ngày 1 tháng 1 năm 2024

- Nhân khẩu Thành phố Ichinoseki có 107,564 người, trong đó có 1,145 người nước ngoài đang sinh sống tại thành phố chiếm tỷ lệ 1% dân số. Trong đó có 277 người Việt Nam, có nghĩa là cứ 4 người nước ngoài sẽ có 1 người Việt Nam sinh sống tại Thành phố.

- Khí hậu có bốn mùa, ẩm áp được thiên nhiên ưu đãi và tập trung vào các ngành nông nghiệp, sản xuất và dịch vụ. Cơ sở hạ tầng phát triển, có tàu cao tốc Shinkansen và hệ thống đường cao tốc đi qua.

◆今回の訪問までの経過

私は2021年の市長就任当初から、人口減少が一関市の最大の課題だと捉え、「しごとづくり・ひとづくり・まちづくり」ということを中心に取り組んでいます。

これらの取組は、市内・国内に目を向けるだけでなく、海外に目を向けた取組もあると常々思っていました。

私は、今後、ますます外国人労働者の増加が見込まれると考え、外国人の方々が暮らしやすく、仕事をしやすい環境を整備する必要があると考えました。

そこで、2023年5月、外国人受入環境の改善、生活利便性の向上、コミュニケーションの支援、多文化共生の推進などを実施するため、市の庁内組織として「一関市外国人市民等支援本部」を設置し、各部署において外国人支援の検討を進めはじめました。

一関市で生活し仕事をしているベトナムを始めとする外国人の皆さんが、一関市で心配なく伸び伸びと活躍できる社会を実現したいと考えています。

これらのことから、昨年7月にHCEMを訪問し、10月には連携協定を行うことができました。

さらに、日本の東北地方に居住しているベトナム人の支援について懇談するため、11月にファム・クアン・ヒエウ駐日ベトナム特命全権大使を訪問し意見交換を行いました。

◆Quá trình tiến tới chuyên thăm lần này

- Kể từ khi được bổ nhiệm làm Thị trưởng vào năm 2021, tôi đã coi việc giảm dân số là thách thức lớn nhất của Thành phố Ichinoseki và tôi đã tập trung vào "phát triển việc làm, phát triển nguồn nhân lực và phát triển cộng đồng".

-Tôi nghĩ rằng những hoạt động này không chỉ tập trung vào trong thành phố, trong đất nước mà còn ở cả nước ngoài.

- Tôi nghĩ rằng số lượng lao động nước ngoài dự kiến sẽ còn tăng nhiều hơn nữa trong tương lai và cần phải tạo ra một môi trường dễ dàng cho người nước ngoài sống và làm việc.

-Vì vậy, vào tháng 5 năm 2023, để cải thiện môi trường tiếp nhận người nước ngoài, cải thiện sự thuận tiện trong cuộc sống, hỗ trợ giao tiếp và thúc đẩy môi trường sống đa văn hóa, thành phố đã cân nhắc đến việc thành lập Trụ sở hỗ trợ công dân nước ngoài tại thành phố Ichinoseki, một tổ chức trực thuộc chính quyền thành phố.

- Với mong muốn tạo ra một xã hội có thể đóng vai trò tích cực, có thể phát triển tốt cho người Việt Nam và người nước ngoài sống, làm việc tại Thành phố Ichinoseki.

-Vì những lý do trên, chúng tôi đã đến thăm Trường cao đẳng cơ điện Hà Nội(HCEM) vào tháng 7 năm trước và ký kết thỏa thuận hợp tác vào tháng 10.

-Hơn nữa, vào tháng 11 năm trước, chúng tôi đã đến thăm Đại sứ đặc mệnh toàn quyền Việt Nam tại Nhật Bản Ông Phạm Quang Hiệu và trao đổi ý kiến để bàn việc hỗ trợ người Việt Nam sinh sống ở vùng Đông Bắc Nhật Bản.

◆訪問の目的

今回、一関市の公式の訪問団を組織し連携協定を締結したHCEMの訪問は、連携のスタートに立ったに過ぎません。

これからのお互いの理解を進め交流の実績を重ねることにより信頼を深めてまいりたいと思います。

まずは、HCEMと一関高専の学生同士の交流からHCEMの学生の皆さんに一関市を知ってもらうよう希望します。

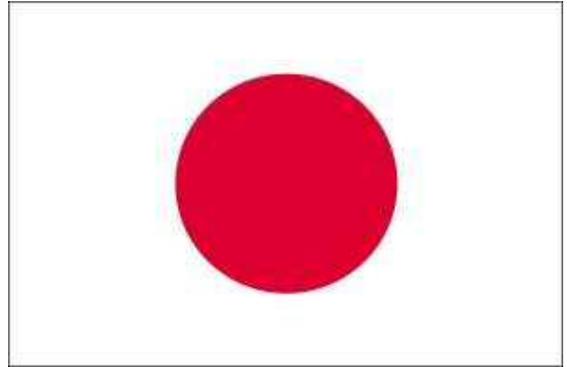
そして、日本での就労を希望する学生の皆さんに一関市を選んでいただき、学生の皆様の将来の夢を叶えてもらいたいと思います。

この訪問により今後の交流事業をどのように進めていくか意見交換したいと考えています。

◆Mục đích chuyến thăm

- Chuyến thăm HCEM chính thức lần này của phái đoàn Thành phố Ichinoseki, là khởi đầu của sự hợp tác sau khi ký kết Thỏa thuận hợp tác.
- Chúng tôi muốn tăng cường sự tin tưởng lẫn nhau bằng cách thúc đẩy giao lưu, xây dựng thành tích giữa các bên.
- Trước hết, Chúng tôi mong rằng sinh viên HCEM sẽ được làm quen với Thành phố Ichinoseki bằng cách thông qua hoạt động giao lưu sinh viên HCEM và Trường Cao đẳng Công nghệ Quốc gia Ichinoseki.
- Thông qua chuyến thăm này, chúng tôi hy vọng có thể trao đổi ý kiến về cách thức tiến hành các hoạt động giao lưu trong tương lai.

ホアビン省・ホアビン市



一関市長あいさつ（ホアビン省・ホアビン市）

Lời chào của Chủ tịch thành phố Ichinoseki gửi đến Tỉnh Hòa Bình-Thành phố Hòa Bình

◆はじめに

本日は、一関市訪問団をこのように歓迎いただき感謝申し上げます。

私は、今回の訪問団の団長で、一関市長の佐藤善仁（さとうよしひと）です。

連携・友好関係を築いていきたいとの私たちの申し出に対して、ベトナム社会主義共和国ホアビン省人民委員会及びホアビン市人民委員会において受け入れをしていただきましたこと心から御礼を申し上げます。

今回の友好関係覚書の取交しの仲介をしていただいた株式会社アーアル研究所のご尽力についても、この場をお借りして敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

訪問団は、一関商工会議所会頭、一関工業高等専門学校校長、一関市議会議長を含め、一関市内の会社経営者、市議会議員が参加しており、総勢 17 名であります。

なお、通訳を務めるグエン・コン・フィン氏は、一関市在住で現在は「いちのせき大使」であります。いちのせき大使は、言い換えれば「在ベトナム日本国一関親善大使」のようなイメージです。一関市の魅力を日本国内だけでなく、ベトナムを始め国際的にも広く発信するとともに、市のイメージアップ及び知名度の向上を図る活動をしていただいています。

◆Lời nói đầu

-Tôi xin gửi lời cảm sâu sắc nhất đến Cơ quan đã giành thời gian đón tiếp phái đoàn thành phố Ichinoseki ngày hôm nay.

-Tôi là Sato Yoshihito Thị trưởng Thành phố Ichinoseki, với tư cách là trưởng đoàn ngày hôm nay.

- Chúng tôi xin bày tỏ lòng biết ơn sâu sắc tới Ủy ban nhân dân tỉnh Hòa Bình nước Cộng hòa xã hội chủ nghĩa Việt Nam và Ủy ban nhân dân thành phố Hòa Bình đã chấp nhận yêu cầu xây dựng quan hệ hợp tác hữu nghị của chúng tôi.

- Tôi cũng xin nhân cơ hội này bày tỏ sự kính trọng và biết ơn tới Công ty cổ phần Viện Nghiên cứu AAL vì những đóng góp về việc giới thiệu trao đổi bản ghi nhớ hữu nghị này.
- Phái đoàn lần này có tổng 17 người, trong đó có Chủ tịch Phòng Thương mại và Công nghiệp Ichinoseki, hiệu trưởng Trường Cao đẳng Công nghệ Quốc gia Ichinoseki, Chủ tịch Hội đồng Thành phố Ichinoseki, các quản trị doanh nghiệp và các thành viên hội đồng thành phố Ichinoseki.
- Hơn nữa, đồng hành cùng chúng tôi lần này làm thông dịch viên Ông Nguyễn Công Huỳnh với tư cách là “Đại sứ Ichinoseki”. Nói cách khác, Đại sứ Ichinoseki mang hình ảnh “Đại sứ hữu nghị Ichinoseki của Nhật Bản tại Việt Nam”.
- Với mục tiêu quảng bá sức hấp dẫn của Thành phố Ichinoseki không chỉ ở Nhật Bản, ở Việt Nam mà còn trên trường quốc tế, đồng thời nâng cao hình ảnh và sự yêu mến của thành phố.

◆一関市の現状 ※ 数値は 2024.1.1 時点

一関市の人口 107,564 人のうち市内に住んでいる外国人は 1,145 人で、市の人口の約 1%を占めています。そのうちベトナム人は 277 人で、外国人の 4 人に 1 人はベトナム人という状況です。

四季があり自然に恵まれた温暖な気候で、農業と製造業・サービス業が中心のまちです。

新幹線や高速道路が整備され、インフラは充実しています。

◆Hiện trạng Thành phố Ichinoseki ※ Cập nhật thông tin Ngày 1 tháng 1 năm 2024

- Nhân khẩu Thành phố Ichinoseki có 107,564 người, trong đó có 1,145 người nước ngoài đang sinh sống tại thành phố chiếm tỷ lệ 1% dân số. Trong đó có 277 người Việt Nam, có nghĩa là cứ 4 người nước ngoài sẽ có 1 người Việt Nam sinh sống tại Thành phố.

- Khí hậu có bốn mùa, ẩm áp được thiên nhiên ưu đãi và tập trung vào các ngành nông nghiệp, sản xuất và dịch vụ. Cơ sở hạ tầng phát triển, có tàu cao tốc Shinkansen và hệ thống đường cao tốc đi qua.

◆今回の訪問までの経過

私は 2021 年の市長就任当初から、人口減少が一関市の最大の課題だと捉え、「しごとづくり・ひとづくり・まちづくり」ということを中心に取り組んでいます。

これらの取組は、市内・国内に目を向けるだけでなく、海外に目を向けた取組もあると常々思っていました。

一関市では、「ベトナム料理を囲む交流会」が定期的に行われています。この交流会は、ベトナム人の就労者を支援するベトナム人の知人が定期的に行っているもので、私や市の幹部職員は、何度か参加しました。

交流会では、外国人労働者の現状や日常生活で困っていることなどを知ることができました。

私は、今後、ますます外国籍の方々の就労の増加が見込まれると考え、外国籍の方々が暮らしやすく、仕事をしやすい環境を整備する必要があると考えました。

そこで、2023年5月、外国人受入環境の改善、生活利便性の向上、コミュニケーションの支援、多文化共生の推進などを実施するため、市の庁内組織として「一関市外国人市民等支援本部」を設置し、各部署において外国人支援の検討をはじめました。

さらに多くのベトナムの皆さんが一関市で活躍してもらえるよう、また、ベトナムの皆さんに一関市を選んでいただけるよう、まちづくりや市内の事業所等における取組を検討していきたいと考えています。

これらのことから、昨年7月下旬にベトナムを訪問し、ホアビン市に立地しているアール研究所ベトナム株式会社様を視察させていただきました。ホアビン市の自然や風景、ベトナム工場で働く従業員の方々と接し、当市と似ている風土を感じたところです。

一関市で生活し仕事をしているベトナムを始めとする外国人の皆さんが、一関市で心配なく伸び伸びと活躍できる社会を実現したいと考えています。

さらに、日本の東北地方に居住しているベトナム人の支援について懇談するため、11月にファム・クアン・ヒエウ駐日ベトナム特命全権大使を訪問し意見交換を行いました。

◆Quá trình tiến tới chuyên thăm lần này

- Kể từ khi được bổ nhiệm làm Thị trưởng vào năm 2021, tôi đã coi việc giảm dân số là thách thức lớn nhất của Thành phố Ichinoseki và tôi đã tập trung vào "phát triển việc làm, phát triển nguồn nhân lực và phát triển cộng đồng".

- Tôi nghĩ rằng những hoạt động này không chỉ tập trung vào trong thành phố, trong đất nước mà còn ở cả nước ngoài.

- Tại thành phố Ichinoseki, thường xuyên tổ chức sự kiện “Giao lưu ẩm thực Việt Nam”. Các buổi giao lưu này được tổ chức bởi một người quen hỗ trợ người lao động Việt Nam, Tôi và các Ban ngành khác của thành phố đã nhiều lần tham gia.

- Tại buổi giao lưu, chúng tôi đã tìm hiểu được thực trạng của người lao động nước ngoài và những vấn đề họ gặp phải trong cuộc sống hàng ngày.

- Tôi nghĩ rằng số lượng lao động nước ngoài dự kiến sẽ còn tăng nhiều hơn nữa trong tương lai và cần phải tạo ra một môi trường dễ dàng cho người nước ngoài sống và làm việc.

- Vì vậy, vào tháng 5 năm 2023, để cải thiện môi trường tiếp nhận người nước ngoài, cải thiện sự thuận tiện trong cuộc sống, hỗ trợ giao tiếp và thúc đẩy môi trường sống đa văn hóa, thành phố đã cân nhắc đến việc thành lập Trụ sở hỗ trợ công dân nước ngoài tại thành phố Ichinoseki, một tổ chức trực thuộc chính quyền thành phố.

- Để nhiều người Việt Nam đóng vai trò tích cực tại Thành phố Ichinoseki và khuyến khích người Việt Nam lựa chọn Thành phố Ichinoseki làm điểm đến, chúng tôi nâng cao việc phát triển đô thị và doanh nghiệp trong Thành phố.

- Vì những lý do trên, tôi đã đến thăm Việt Nam vào cuối tháng 7 năm trước và thị sát Công ty nghiên cứu kỹ thuật R Việt Nam, có trụ sở tại Thành phố Hòa Bình. Tôi được tiếp xúc với thiên nhiên, cảnh quan của Thành phố Hòa Bình và các nhân viên đang làm việc tại nhà máy Việt Nam và Tôi cảm thấy văn hóa có nét tương đồng với thành phố chúng tôi.

- Với mong muốn tạo ra một xã hội có thể đóng vai trò tích cực, có thể phát triển tốt cho người Việt Nam và người nước ngoài sống, làm việc tại Thành phố Ichinoseki.

- Hơn nữa, vào tháng 11 năm trước, chúng tôi đã đến thăm Đại sứ đặc mệnh toàn quyền Việt Nam tại Nhật Bản Ông Phạm Quang Hiệu và trao đổi ý kiến để bàn việc hỗ trợ người Việt Nam sinh sống ở vùng Đông Bắc Nhật Bản.

◆訪問の目的

一関市とベトナム社会主義共和国ホアビン省ホアビン市が、アーアル研究所様が立地しているご縁を大切に、連携し友好関係を築いていきたいと心から願っています。

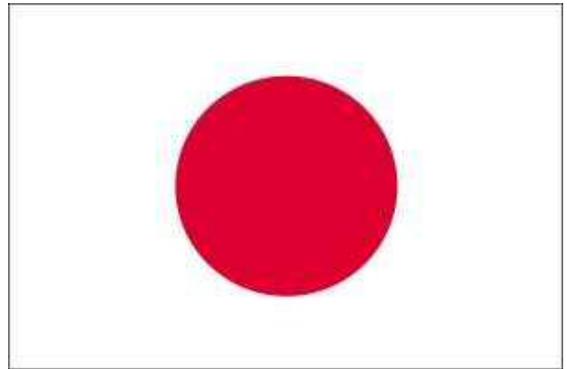
人的交流から経済交流に発展させるため、双方の経済、農業、観光、文化・教育、人材育成、人材交流の分野における情報共有及び協力関係強化を目指し、相互利益をもたらす関係促進に向けた決意を確認し、今後の取組の具体化を目指すことに合意できればと考えています。

◆Mục đích chuyến thăm

- Chúng tôi đánh giá cao mối quan hệ giữa Thành phố Ichinoseki và Nước Cộng hòa xã hội chủ nghĩa Việt Nam tỉnh Hòa Bình, Thành phố Hòa Bình, nơi đặt địa điểm Công ty nghiên cứu kỹ thuật R Việt Nam. Chúng tôi mong muốn hợp tác, xây dựng mối quan hệ hữu nghị..

- Phát triển từ giao lưu con người đến giao lưu kinh tế. Chúng tôi mong muốn chia sẻ thông tin và tăng cường mối quan hệ hợp tác trong các lĩnh vực kinh tế, nông nghiệp, du lịch, văn hóa và giáo dục, phát triển nguồn nhân lực. Đồng thời thúc đẩy mối quan hệ cùng có lợi, khẳng định và đạt được thỏa thuận để hướng tới những sáng kiến cụ thể trong tương lai.

アーアル研究所ベトナム株式会社



アーアル研究所ベトナム株式会社の皆様への一関市長挨拶

Lời chào của Chủ tịch Thành phố Ichinoseki đến Cán bộ công nhân viên Công ty nghiên cứu kỹ thuật R Việt Nam

◆はじめに

本日は、一関市訪問団のためにお時間をいただき感謝申し上げます。

私は、今回の訪問団の団長で、一関市長の佐藤善仁（さとうよしひと）です。

皆さんと再会できてとても嬉しく思います。

昨年7月にベトナム工場の訪問視察をさせていただきました。また、ハノイ市内でのディナーミーティングで懇親を深めることができました。

帰国後、株式会社アーアル研究所創立 50 周年記念式典にお招きいただき、社員の皆様と共に歩まれてきた貴社の歴史に触れることもできました。

先ほどは、ホアビン省ホアビン市と友好関係に関する覚書に署名したところであります。

小川社長始め、小川会長、小川常務、ズオン・チ・チン副社長、関係各位のご理解とご尽力の賜物であり心から感謝申し上げます。

今回の訪問団は、一関商工会議所会頭、一関工業高等専門学校校長、一関市議会議長を含め、一関市内の会社経営者、市議会議員が参加しており、総勢 17 名であります。

なお、前回の訪問時に通訳を務めていた一関市在住のグエン・コン・フィン氏は、「いちのせき大使」として今回も同行をお願いしました。いちのせき大使は、言い換えれば「在ベトナム日本国一関親善大使」のようなイメージです。一関市の魅力を日本国内だけでなく、ベトナムを始め国際的にも広く発信するとともに、市のイメージアップ及び知名度の向上を図る活動をしていただいています。

◆Lời nói đầu

-Tôi xin gửi lời cảm sâu sắc nhất đến toàn thể công ty đã giành thời gian đón tiếp đoàn thành phố Ichinoseki ngày hôm nay.

-Tôi là Sato Yoshihito Thị trưởng Thành phố Ichinoseki, với tư cách là trưởng đoàn ngày hôm nay.

- Tôi rất vui khi được gặp lại mọi người ngày hôm nay.
- Tháng 7 năm trước, chúng tôi đã đến thăm và thị sát nhà máy ở Việt Nam. Hơn nữa chúng tôi cũng có cơ hội giao lưu sâu sắc hơn với người công ty trong bữa tiệc ăn tối tại Hà Nội.
- Sau khi trở về Nhật Bản, tôi được mời đến dự lễ kỷ niệm 50 năm thành lập Công ty cổ phần Viện Nghiên cứu AAL và được tìm hiểu về lịch sử của công ty cùng cán bộ công nhân viên công ty.
- Và vừa rồi chúng tôi đã ký biên bản ghi nhớ hữu nghị với Thành phố Hòa Bình, tỉnh Hòa Bình.
- Tôi xin bày tỏ lòng biết ơn chân thành tới Ngài Giám đốc Ogawa, Chủ tịch Ogawa, Giám đốc điều hành Ogawa, Phó giám đốc Dương Thị Chính cùng tất cả các thành viên liên quan đã hỗ trợ và giúp đỡ chúng tôi.
- Phái đoàn lần này có tổng 17 người, trong đó có Chủ tịch Phòng Thương mại và Công nghiệp Ichinoseki, hiệu trưởng Trường Cao đẳng Công nghệ Quốc gia Ichinoseki, Chủ tịch Hội đồng Thành phố Ichinoseki, các quản trị doanh nghiệp và các thành viên hội đồng thành phố Ichinoseki.
- Hơn nữa, đồng hành cùng chúng tôi lần này có Ông Nguyễn Công Huỳnh với tư cách là “Đại sứ Ichinoseki”. Nói cách khác, Đại sứ Ichinoseki mang hình ảnh “Đại sứ hữu nghị Ichinoseki của Nhật Bản tại Việt Nam”. sinh sống tại thành phố Ichinoseki từng làm thông dịch viên trong chuyến thăm trước đó.
- Với mục tiêu quảng bá sức hấp dẫn của Thành phố Ichinoseki không chỉ ở Nhật Bản, ở Việt Nam mà còn trên trường quốc tế, đồng thời nâng cao hình ảnh và sự yêu mến của thành phố.

◆一関市の現状 ※ 数値は 2024.1.1 時点

一関市の人口 107,564 人のうち市内に住んでいる外国人は 1,145 人で、市の人口の約 1% を占めています。そのうちベトナム人は 277 人で、外国人の 4 人に 1 人はベトナム人という状況です。

◆Hiện trạng Thành phố Ichinoseki ※ Cập nhật thông tin Ngày 1 tháng 1 năm 2024

- Nhân khẩu Thành phố Ichinoseki có 107,564 người, trong đó có 1,145 người nước ngoài đang sinh sống tại thành phố chiếm tỷ lệ 1% dân số. Trong đó có 277 người Việt Nam, có nghĩa là cứ 4 người nước ngoài sẽ có 1 người Việt Nam sinh sống tại Thành phố.

◆今回の訪問までの経過

私は2021年の市長就任当初から、人口減少が一関市の最大の課題だと捉え、「しごとづくり・ひとづくり・まちづくり」ということを中心に取り組んでいます。

これらの取組は、市内・国内に目を向けるだけでなく、海外に目を向けた取組もあると常々思っていました。

私は、今後、ますます外国人労働者の増加が見込まれると考え、外国人の方々が暮らしやすく、仕事をしやすい環境を整備する必要があると考えました。

そこで、2023年5月、外国人受入環境の改善、生活利便性の向上、コミュニケーションの支援、多文化共生の推進などを実施するため、市の庁内組織として「一関市外国人市民等支援本部」を設置し、各部署において外国人支援の検討をはじめました。

一関市で生活し仕事をしているベトナムを始めとする外国人の皆さんが、一関市で心配なく伸び伸びと活躍できる社会を実現したいと考えています。

これらのことから、昨年7月にHCEMを訪問し、10月には連携協定を行うことができました。

さらに、日本の東北地方に居住しているベトナム人の支援について懇談するため、11月にはファム・クアン・ヒエウ駐日ベトナム特命全権大使を訪問し意見交換を行いました。

◆Quá trình tiến tới chuyên thăm lần này

- Kể từ khi được bổ nhiệm làm Thị trưởng vào năm 2021, tôi đã coi việc giảm dân số là thách thức lớn nhất của Thành phố Ichinoseki và tôi đã tập trung vào "phát triển việc làm, phát triển nguồn nhân lực và phát triển cộng đồng".

-Tôi nghĩ rằng những hoạt động này không chỉ tập trung vào trong thành phố, trong đất nước mà còn ở cả nước ngoài.

- Tôi nghĩ rằng số lượng lao động nước ngoài dự kiến sẽ còn tăng nhiều hơn nữa trong tương lai và cần phải tạo ra một môi trường dễ dàng cho người nước ngoài sống và làm việc.

-Vì vậy, vào tháng 5 năm 2023, để cải thiện môi trường tiếp nhận người nước ngoài, cải thiện sự thuận tiện trong cuộc sống, hỗ trợ giao tiếp và thúc đẩy môi trường sống đa văn hóa, thành phố đã cân nhắc đến việc thành lập Trụ sở hỗ trợ công dân nước ngoài tại thành phố Ichinoseki, một tổ chức trực thuộc chính quyền thành phố.

- Với mong muốn tạo ra một xã hội có thể đóng vai trò tích cực, có thể phát triển tốt cho người Việt Nam và người nước ngoài sống, làm việc tại Thành phố Ichinoseki.

-Vì những lý do trên, chúng tôi đã đến thăm Trường cao đẳng cơ điện Hà Nội(HCEM) vào tháng 7 năm trước và ký kết thỏa thuận hợp tác vào tháng 10.

-Hơn nữa, vào tháng 11 năm trước, chúng tôi đã đến thăm Đại sứ đặc mệnh toàn quyền Việt Nam tại Nhật Bản Ông Phạm Quang Hiệu và trao đổi ý kiến để bàn việc hỗ trợ người Việt Nam sinh sống ở vùng Đông Bắc Nhật Bản.

◆訪問の目的

日本の会計年度や学期は4月から始まりますので、現在 2024 年の会計年度の予算編成で一関市の外国人やその企業を支援していくための検討を進めているところです。

一関市としては、まずは一関市で仕事をして暮らしている外国人の皆様が活躍できるような社会の実現ため取組を進めてまいります。

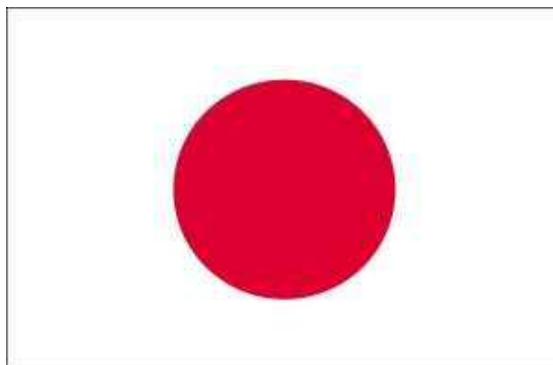
一方では、現在のグローバルな社会経済の中で、株式会社アーアル研究所のように海外展開を成功させ、着実に成長を続けていくことも求められます。

今回の御社の視察を通じて、一関市の産業界の発展と地域経済の活性化とともに、国際化を進めていく契機としたいと考えています。

◆Mục đích chuyến thăm

- Quyết toán tài chính và học kỳ của Nhật Bản bắt đầu vào tháng 4, vì vậy chúng tôi hiện đang xem xét các chính sách hỗ trợ người nước ngoài và doanh nghiệp tại Thành phố Ichinoseki bằng cách lập ngân sách cho năm tài chính 2024.
- Trước hết, Thành phố Ichinoseki sẽ tiếp tục nỗ lực tạo ra một xã hội tích cực cho người nước ngoài làm việc và sinh sống tại Thành phố Ichinoseki.
- Mặt khác, trong nền kinh tế xã hội toàn cầu hiện nay, Cần tiếp tục phát triển ổn định, mở rộng thành công ra nước ngoài như Công ty cổ phần Viện Nghiên cứu AAL.
- Chúng tôi muốn thông qua chuyến thăm công ty lần này như một cơ hội để phát triển ngành công nghiệp của Thành phố Ichinoseki, thúc đẩy quốc tế hóa và khôi phục nền kinh tế địa phương.

ビンディン省・クイニョン市



一関市長あいさつ（ビンディン省・クイニョン市）

Lời chào của Chủ tịch thành phố Ichinoseki gửi đến Tỉnh Bình Định-Thành phố Quy Nhơn

◆はじめに

本日は、一関市訪問団のためにお時間をいただき感謝申し上げます。

私は、今回の訪問団の団長で、一関市長の佐藤善仁（さとうよしひと）です。

皆さんとお会いすることができてとても嬉しく思います。

今回の訪問は、一関市内で会社を経営している方とのお知り合いで、クイニョン市で事業を行っている平山康夫様の仲介で実現しました。

訪問団は、一関商工会議所会頭、一関工業高等専門学校校長、一関市議会議長を含め、一関市内の会社経営者、市議会議員が参加しており、総勢 17 名であります。

なお、今回の訪問で通訳をお願いしている一関市在住のグエン・コン・フィン氏は、「いちのせき大使」として同行しています。いちのせき大使は、言い換えれば「在ベトナム日本国一関親善大使」のようなイメージです。一関市の魅力を日本国内だけでなく、ベトナムを始め国際的にも広く発信するとともに、市のイメージアップ及び知名度の向上を図る活動をしていただいています。

◆Lời nói đầu

-Tôi xin gửi lời cảm sâu sắc nhất đến Cơ quan đã giành thời gian đón tiếp đoàn thành phố Ichinoseki ngày hôm nay.

-Tôi là Sato Yoshihito Thị trưởng Thành phố Ichinoseki, với tư cách là trưởng đoàn ngày hôm nay.

-Tôi rất vui khi được gặp mọi người ngày hôm nay.

-Về chuyến thăm lần này, Thông qua Giới thiệu của người điều hành doanh nghiệp tại Thành phố Quy Nhơn Ông Hirayama Yasuo và người kinh doanh công ty tại thành phố Ichinoseki.

- Phái đoàn lần này có tổng 17 người, trong đó có Chủ tịch Phòng Thương mại và Công nghiệp Ichinoseki, hiệu trưởng Trường Cao đẳng Công nghệ Quốc gia Ichinoseki, Chủ tịch Hội đồng Thành phố Ichinoseki, các quản trị doanh nghiệp và các thành viên hội đồng thành phố Ichinoseki.
- Hơn nữa, đồng hành cùng chúng tôi lần này làm thông dịch viên Ông Nguyễn Công Huỳnh với tư cách là “Đại sứ Ichinoseki” .Nói cách khác, Đại sứ Ichinoseki mang hình ảnh “Đại sứ hữu nghị Ichinoseki của Nhật Bản tại Việt Nam”.
- Với mục tiêu quảng bá sức hấp dẫn của Thành phố Ichinoseki không chỉ ở Nhật Bản,ở Việt Nam mà còn trên trường quốc tế, đồng thời nâng cao hình ảnh và sự yêu mến của thành phố.

◆一関市の現状 ※ 数値は 2024.1.1 時点

一関市の人口 107,564 人のうち市内に住んでいる外国人は 1,145 人で、市の人口の約 1%を占めています。そのうちベトナム人は 277 人で、外国人の 4 人に 1 人はベトナム人という状況です。

四季があり自然に恵まれた温暖な気候で、農業と製造業・サービス業が中心のまちです。

新幹線や高速道路が整備され、インフラは充実しています。

◆Hiện trạng Thành phố Ichinoseki ※ Cập nhật thông tin Ngày 1 tháng 1 năm 2024

- Nhân khẩu Thành phố Ichinoseki có 107,564 người, trong đó có 1,145 người nước ngoài đang sinh sống tại thành phố chiếm tỷ lệ 1% dân số. Trong đó có 277 người Việt Nam, có nghĩa là cứ 4 người nước ngoài sẽ có 1 người Việt Nam sinh sống tại Thành phố.

- Khí hậu có bốn mùa, ẩm áp được thiên nhiên ưu đãi và tập trung vào các ngành nông nghiệp, sản xuất và dịch vụ. Cơ sở hạ tầng phát triển, có tàu cao tốc Shinkansen và hệ thống đường cao tốc đi qua.

◆今回の訪問までの経過

私は2021年の市長就任当初から、人口減少が一関市の最大の課題だと捉え、「しごとづくり・ひとづくり・まちづくり」ということを中心に取り組んでいます。

これらの取組は、市内・国内に目を向けるだけでなく、海外に目を向けた取組もあると常々思っていました。

私は、今後、ますます外国人労働者の増加が見込まれると考え、外国人の方々が暮らしやすく、仕事をしやすい環境を整備する必要があると考えました。

そこで、2023年5月、外国人受入環境の改善、生活利便性の向上、コミュニケーションの支援、多文化共生の推進などを実施するため、市の庁内組織として「一関市外国人市民等支援本部」を設置し、各部署において外国人支援の検討をはじめました。

一関市で生活し仕事をしているベトナムを始めとする外国人の皆さんが、一関市で心配なく伸び伸びと活躍できる社会を実現したいと考えています。

これらのことから、昨年7月にベトナムのハノイ市を中心に訪問し、在ベトナム日本大使館、ベトナム国労働・傷病兵・社会省海外労働管理局や一関市に本社のある株式会社アーナル研究所ベトナム工場などを訪問・視察しました。

その際、訪問先の一つでありましたハノイ電機短期大学（Hanoi College for Electro - Mechanics）と協議を進めた結果、学生間交流を基本として、一関市、一関商工会議所、一関工業高等専門学校との4者で連携協定を2023年10月に締結しました。

さらに、日本の東北地方に居住しているベトナム人の支援について懇談するため、11月にファム・クアン・ヒエウ駐日ベトナム特命全権大使を訪問し意見交換を行いました。

◆Quá trình tiến tới chuyến thăm lần này

- Kể từ khi được bổ nhiệm làm Thị trưởng vào năm 2021, tôi đã coi việc giảm dân số là thách thức lớn nhất của Thành phố Ichinoseki và tôi đã tập trung vào "phát triển việc làm, phát triển nguồn nhân lực và phát triển cộng đồng".

- Tôi nghĩ rằng những hoạt động này không chỉ tập trung vào trong thành phố, trong đất nước mà còn ở cả nước ngoài.

- Tôi nghĩ rằng số lượng lao động nước ngoài dự kiến sẽ còn tăng nhiều hơn nữa trong tương lai và cần phải tạo ra một môi trường dễ dàng cho người nước ngoài sống và làm việc.

- Vì vậy, vào tháng 5 năm 2023, để cải thiện môi trường tiếp nhận người nước ngoài, cải thiện sự thuận tiện trong cuộc sống, hỗ trợ giao tiếp và thúc đẩy môi trường sống đa văn hóa, thành phố đã cân nhắc đến việc thành lập Trụ sở hỗ trợ công dân nước ngoài tại thành phố Ichinoseki, một tổ chức trực thuộc chính quyền thành phố.

- Với mong muốn tạo ra một xã hội có thể đóng vai trò tích cực, có thể phát triển tốt cho người Việt Nam và người nước ngoài sống, làm việc tại Thành phố Ichinoseki.

- Vì những lý do trên, vào tháng 7 năm trước, chúng tôi đến thăm Thành phố Hà Nội, thăm Đại sứ quán Nhật Bản tại Việt Nam, Cục Quản lý lao động ngoài nước Bộ Lao động, Thương binh và Xã

hội Việt Nam, Công ty cổ phần viện Nghiên cứu AAL có trụ sở chính tại thành phố Ichinoseki, chúng tôi đã đến thăm và thị sát nhà máy tại Việt Nam.

- Vào thời điểm đó, qua thảo luận với Trường Cao đẳng Cơ điện Hà Nội, một trong những điểm chúng tôi đã đến, chúng tôi quyết định xúc tiến trao đổi sinh viên giữa Thành phố Ichinoseki, Phòng Thương mại và Công nghiệp Ichinoseki và Trường Cao đẳng Công nghệ Quốc gia Ichinoseki. bốn bên đã ký kết hiệp định thỏa thuận hợp tác vào tháng 10 năm 2023.

- Vào tháng 11 năm trước, chúng tôi đã đến thăm Đại sứ đặc mệnh toàn quyền Việt Nam tại Nhật Bản Ông Phạm Quang Hiệu và trao đổi ý kiến để bàn việc hỗ trợ người Việt Nam sinh sống ở vùng Đông Bắc Nhật Bản.

◆訪問の目的

一関市では、ベトナム国の地方行政機関との連携も図っていきたいと考えています。

ベトナムは、日本と同様に国土が南北に長く、地方により文化や風習が異なると聞いています。

北部にあつては、一関市に本社のある株式会社アーアル研究所ベトナム工場が立地しているホアビン省（ホアビン市）との連携をお願いしているところでもあります。

そして、ベトナムの中部にあつては、ビンディン省（クイニョン市）との友好関係を持ちたいと思っています。

一関市、ベトナム国の地方の地方行政機関 双方の経済、農業、観光、文化・教育、人材育成、人材交流の分野における情報共有及び協力関係を目指しています。

◆Mục đích chuyến thăm

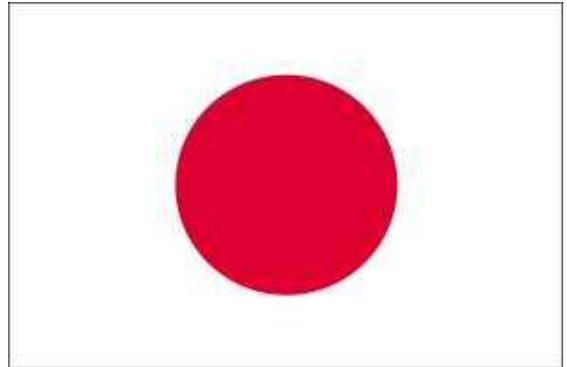
- Thành phố Ichinoseki mong muốn được hợp tác với các cơ quan chính quyền địa phương tại Việt Nam. Tôi được biết Việt Nam cũng giống như Nhật Bản, có một vùng đất dài từ Bắc vào Nam, văn hóa và phong tục khác nhau tùy theo khu vực.

- Ở miền bắc, chúng tôi đang yêu cầu hợp tác với tỉnh Hòa Bình (Thành phố Hòa Bình), nơi đặt nhà máy tại Việt Nam của Công ty cổ phần Viện nghiên cứu AAL, có trụ sở chính tại Thành phố Ichinoseki.

- Tại miền Trung Việt Nam, chúng tôi mong muốn có quan hệ hữu nghị với tỉnh Bình Định (Thành phố Quy Nhơn).

- Chúng tôi mong muốn chia sẻ thông tin và hợp tác giữa Thành phố Ichinoseki cùng các cơ quan chính quyền địa phương tại Việt Nam trong các lĩnh vực kinh tế, nông nghiệp, du lịch, văn hóa/giáo dục, phát triển nguồn nhân lực và trao đổi nhân lực.

L I X I L ベトナム工場



L I X I L ベトナム工場の皆様への一関市長挨拶

Lời chào của Chủ tịch thành phố Ichinoseki gửi đến Cán bộ công nhân viên công ty LIXIL Việt Nam

◆はじめに

本日は、一関市訪問団のためにお時間をいただき感謝申し上げます。

私は、今回の訪問団の団長で、一関市長の佐藤善仁（さとうよしひと）です。

（株）一関 LIXIL 製作所様のご紹介により今回訪問できましたこと御礼申し上げます。

今回の訪問団は、一関商工会議所会頭、一関工業高等専門学校校長、一関市議会議長を含め、一関市内の会社経営者、市議会議員の総勢 17 名であり、L I X I L 一関工場の川堀総務課長にも同行いただいております。

なお、通訳を務めていただいている一関市在住のグエン・コン・フィン氏は、「いちのせき大使」であります。いちのせき大使は、言い換えれば「在ベトナム日本国一関親善大使」のようなイメージです。一関市の魅力を日本国内だけでなく、ベトナムを始め国際的にも広く発信するとともに、市のイメージアップ及び知名度の向上を図る活動をしていただいております。

◆Lời nói đầu

-Tôi xin gửi lời cảm sâu sắc nhất đến toàn thể công ty đã giành thời gian đón tiếp đoàn thành phố Ichinoseki ngày hôm nay.

-Tôi là Sato Yoshihito Thị trưởng Thành phố Ichinoseki, với tư cách là trưởng đoàn ngày hôm nay.

-Chúng tôi xin cảm ơn Công ty Cổ phần Sản xuất LIXIL Ichinoseki đã giới thiệu và cho phép chúng tôi đến thăm lần này.

- Phái đoàn lần này có tổng 17 người, trong đó có Chủ tịch Phòng Thương mại và Công nghiệp Ichinoseki, hiệu trưởng Trường Cao đẳng Công nghệ Quốc gia Ichinoseki, Chủ tịch Hội đồng Thành phố Ichinoseki, các quản trị doanh nghiệp và các thành viên hội đồng thành phố Ichinoseki. Và có sự đồng hành của Trưởng phòng tổng vụ Công ty cổ phần Sản xuất LIXIL Ichinoseki

- Hơn nữa, đồng hành cùng chúng tôi lần này làm thông dịch viên Ông Nguyễn Công Huỳnh với tư cách là “Đại sứ Ichinoseki” .Nói cách khác, Đại sứ Ichinoseki mang hình ảnh “Đại sứ hữu nghị Ichinoseki của Nhật Bản tại Việt Nam”.

- Với mục tiêu quảng bá sức hấp dẫn của Thành phố Ichinoseki không chỉ ở Nhật Bản, ở Việt Nam mà còn trên trường quốc tế, đồng thời nâng cao hình ảnh và sự yêu mến của thành phố.

◆一関市の現状 ※ 数値は 2024.1.1 時点

一関市の人口 107,564 人のうち市内に住んでいる外国人は 1,145 人で、市の人口の約 1%を占めています。そのうちベトナム人は 277 人で、外国人の 4 人に 1 人はベトナム人という状況です。

◆Hiện trạng Thành phố Ichinoseki ※ Cập nhật thông tin Ngày 1 tháng 1 năm 2024

- Nhân khẩu Thành phố Ichinoseki có 107,564 người, trong đó có 1,145 người nước ngoài đang sinh sống tại thành phố chiếm tỷ lệ 1% dân số. Trong đó có 277 người Việt Nam, có nghĩa là cứ 4 người nước ngoài sẽ có 1 người Việt Nam sinh sống tại Thành phố.

◆今回の訪問までの経過

私は 2021 年の市長就任当初から、人口減少が一関市の最大の課題だと捉え、「しごとづくり・ひとづくり・まちづくり」ということを中心に取り組んでいます。

これらの取組は、市内・国内に目を向けるだけでなく、海外に目を向けた取組もあると常々思っていました。

私は、今後、ますます外国人労働者の増加が見込まれると見え、外国人の方々が暮らしやすく、仕事をしやすい環境を整備する必要があると考えました。

そこで、2023 年 5 月、外国人受入環境の改善、生活利便性の向上、コミュニケーションの支援、多文化共生の推進などを実施するため、市の庁内組織として「一関市外国人市民等支援本部」を設置し、各部署において外国人支援の検討をはじめました。

一関市で生活し仕事をしているベトナムを始めとする外国人の皆さんが、一関市で心配なく伸び伸びと活躍できる社会を実現したいと考えています。

これらのことから、昨年 7 月に HCEM を訪問し、10 月には連携協定を行うことができました。

さらに、日本の東北地方に居住しているベトナム人の支援について懇談するため、11 月にファム・クアン・ヒエウ駐日ベトナム特命全権大使を訪問し意見交換を行いました。

◆Quá trình tiến tới chuyến thăm lần này

- Kể từ khi được bổ nhiệm làm Thị trưởng vào năm 2021, tôi đã coi việc giảm dân số là thách thức lớn nhất của Thành phố Ichinoseki và tôi đã tập trung vào "phát triển việc làm, phát triển nguồn nhân lực và phát triển cộng đồng".

-Tôi nghĩ rằng những hoạt động này không chỉ tập trung vào trong thành phố, trong đất nước mà còn ở cả nước ngoài.

- Tôi nghĩ rằng số lượng lao động nước ngoài dự kiến sẽ còn tăng nhiều hơn nữa trong tương lai và cần phải tạo ra một môi trường dễ dàng cho người nước ngoài sống và làm việc.

-Vì vậy, vào tháng 5 năm 2023, để cải thiện môi trường tiếp nhận người nước ngoài, cải thiện sự thuận tiện trong cuộc sống, hỗ trợ giao tiếp và thúc đẩy môi trường sống đa văn hóa, thành phố đã cân nhắc đến việc thành lập Trụ sở hỗ trợ công dân nước ngoài tại thành phố Ichinoseki, một tổ chức trực thuộc chính quyền thành phố.

- Với mong muốn tạo ra một xã hội có thể đóng vai trò tích cực, có thể phát triển tốt cho người Việt Nam và người nước ngoài sống, làm việc tại Thành phố Ichinoseki.

-Vì những lý do trên, chúng tôi đã đến thăm Trường cao đẳng cơ điện Hà Nội(HCEM) vào tháng 7 năm trước và ký kết thỏa thuận hợp tác vào tháng 10.

-Hơn nữa, vào tháng 11 năm trước, chúng tôi đã đến thăm Đại sứ đặc mệnh toàn quyền Việt Nam tại Nhật Bản Ông Phạm Quang Hiệu và trao đổi ý kiến để bàn việc hỗ trợ người Việt Nam sinh sống ở vùng Đông Bắc Nhật Bản.

◆訪問の目的

日本の会計年度や学期は4月から始まりますので、現在2024年の会計年度の予算編成で一関市の外国人やその企業を支援していくための検討を進めているところです。

一関市としては、まずは一関市で仕事をして暮らしている外国人の皆様が活躍できるような社会の実現ため取組を進めてまいります。

一方では、現在のグローバルな社会経済の中で、LIXIL様のように海外展開を成功させ、着実に成長を続けていくことも求められます。

今回の御社の視察を通じて、一関市の産業界の発展と地域経済の活性化とともに、国際化を進めていく契機としたいと考えています。

◆Mục đích chuyến thăm

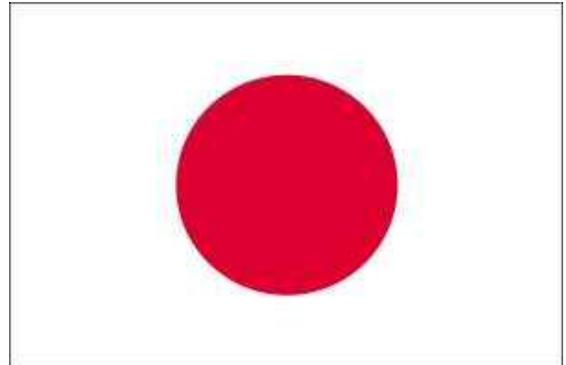
- Quyết toán tài chính và học kỳ của Nhật Bản bắt đầu vào tháng 4, vì vậy chúng tôi hiện đang xem xét các chính sách hỗ trợ người nước ngoài và doanh nghiệp tại Thành phố Ichinoseki bằng cách lập ngân sách cho năm tài chính 2024.

- Trước hết, Thành phố Ichinoseki sẽ tiếp tục nỗ lực tạo ra một xã hội tích cực cho người nước ngoài làm việc và sinh sống tại Thành phố Ichinoseki.

- Mặt khác, trong nền kinh tế xã hội toàn cầu hiện nay, Cần tiếp tục phát triển ổn định, mở rộng thành công ra nước ngoài như Công ty LIXIL.

- Chúng tôi muốn thông qua chuyến thăm công ty lần này như một cơ hội để phát triển ngành công nghiệp của Thành phố Ichinoseki, thúc đẩy quốc tế hóa và khôi phục nền kinh tế địa phương.

在ベトナム藤沢会



在ベトナム藤沢会の皆様への一関市長あいさつ

Lời chào của Chủ tịch thành phố Ichinoseki Hội Fujisawa tại Việt Nam

◆はじめに

本日は、我々訪問団のために、在ベトナム藤沢会の皆様がお集まりいただき感謝申し上げます。

一関市ベトナム訪問団は、一関市内で会社経営などを行っている一関商工会議所の会頭や会員、一関工業高等専門学校の校長、一関市議会議長、議員など総勢 17 人です。

17 日から明日 21 日までの期間に、連携協定を締結しているハノイ電機短期大学の訪問から始まり、ホアビン市との友好に関する覚書の取交し、一関市に本社のあるアーアル研究所のベトナム工場（ホアビン市に立地）の視察、ビンディン省人民委員会への表敬訪問、LIXILベトナム工場の視察を終え、公式行事としては、このディナーミーティングが最後となりました。

各地でベトナム人の方々から大変な歓迎を受け、大きな成果を得ることができました。

◆Lời nói đầu

-Tôi xin gửi lời cảm sâu sắc nhất đến toàn thể mọi người từ Hội Fujisawa tại Việt Nam đã đến đón đoàn của chúng tôi ngày hôm nay.

- Phái đoàn lần này có tổng 17 người, trong đó có Chủ tịch Phòng Thương mại và Công nghiệp Ichinoseki, hiệu trưởng Trường Cao đẳng Công nghệ Quốc gia Ichinoseki, Chủ tịch Hội đồng Thành phố Ichinoseki, các quản trị doanh nghiệp và các thành viên hội đồng thành phố Ichinoseki.

-Từ ngày 17 đến ngày 21, chúng tôi bắt đầu bằng chuyến thăm Trường Cao đẳng cơ điện Hà Nội, Trường mà chúng tôi đã ký thỏa thuận hợp tác, trao đổi biên bản hữu nghị với Thành phố Hòa Bình, đến thăm Công ty cổ phần Viện Nghiên cứu AAL có trụ sở chính tại Thành phố Ichinoseki, đến thăm Ủy ban nhân dân tỉnh Bình Định, thị sát Công ty LIXIL Việt Nam, Và buổi gặp mặt ăn tối này là sự kiện chính thức cuối cùng.

- Chúng tôi đã nhận được sự chào đón nồng nhiệt từ người dân Việt Nam ở nhiều địa phương khác nhau và đã đạt được những kết quả tuyệt vời.

◆一関市の現状 ※ 数値は 2024.1.1 時点

一関市の人口 107,564 人のうち市内に住んでいる外国人は 1,145 人で、市の人口の約 1%を占めています。そのうちベトナム人は 277 人で、外国人の 4 人に 1 人はベトナム人という状況です。

◆Hiện trạng Thành phố Ichinoseki ※ Cập nhật thông tin Ngày 1 tháng 1 năm 2024

- Nhân khẩu Thành phố Ichinoseki có 107,564 người, trong đó có 1,145 người nước ngoài đang sinh sống tại thành phố chiếm tỷ lệ 1% dân số. Trong đó có 277 người Việt Nam, có nghĩa là cứ 4 người nước ngoài sẽ có 1 người Việt Nam sinh sống tại Thành phố.

◆在ベトナム藤沢会との交流

- ・ 在ベトナム藤沢会との交流は、1996 年に、旧藤沢町国際交流協会がベトナムの学生たちを藤沢町に招聘し、日本語を学ぶ機会を提供するとともに、地域の方々との交流などを通じて日本の文化に触れる機会を提供する教育交流事業としてスタートしました。
- ・ その後も、在ベトナム藤沢会との交流は、旧藤沢町国際交流協会から事業を引き継いだ一関市国際交流協会を含め、これまでに 26 回 120 名以上の学生が一関市に訪問いただき、市民との交流を深めてきました。
- ・ 改めまして、ユン会長をはじめ、関係者の皆様のご尽力に対して敬意を表するとともに、厚く御礼申し上げます。
- ・ ここ数年はコロナによる休止した期間もありましたが、2023 年 1 月に再開し、今年 10 月には 3 人の学生が一関市へ訪問され、ホームステイを行いながら日本の生活や文化の体験と市内企業の見学などを行いました。
- ・ これまで参加した学生はホームステイを通して交流を深め、その後も家族同士の交流を続けている学生やホストファミリーも多い状況です。
- ・ 学生の多くは、日本の大学に留学、あるいは日系企業に就職するなど、留学で得た貴重な経験を旨に、日本とベトナムの架け橋として各方面で活躍されていることは、非常に喜ばしいことです。
- ・ 本日は、ここに参加いただいた皆様との交流により、在ベトナム藤沢会と一関市の友好・親善とさらなる交流の発展が深まるよう楽しい時間を過ごしていただきと思います。

◆**Giao lưu với Hội Fujisawa tại Việt Nam**

- Giao lưu cùng với hội Fujisawa tại Việt Nam, bắt đầu vào năm 1996 khi nguyên Hiệp hội Giao lưu Quốc tế Thị trấn Fujisawa mời sinh viên Việt Nam đến Thị trấn Fujisawa, Giao lưu vùng miền, Giao lưu văn hóa, Giao lưu đào tạo, để tạo cơ hội học tiếng Nhật.

- Kể từ đó, các hoạt động giao lưu với Hội Fujisawa tại Việt Nam vẫn tiếp diễn, Hiệp hội Giao lưu Quốc tế Thành phố Ichinoseki, đơn vị tiếp quản công việc kế tiếp từ nguyên Hiệp hội Giao lưu Quốc tế Thị trấn Fujisawa trước đây, Đến thời điểm hiện tại đã 26 lần, với hơn 120 sinh viên đã đến thăm Thành phố Ichinoseki để giao lưu.

- Một lần nữa, tôi muốn bày tỏ sự lòng biết ơn tới Chủ tịch Dũng và những người đã hỗ trợ cho hoạt động giao lưu này.

- Nhiều năm qua, đã có một thời gian tạm dừng do virus Corona, nhưng đã tiếp tục hoạt động trở lại vào tháng 1 năm 2023, tháng 10 năm trước, có 3 sinh viên đã đến thăm Thành phố Ichinoseki, ở trọ nhà dân, trải nghiệm cuộc sống và văn hóa Nhật Bản khi học tập tại đây, Và đi tham quan các doanh nghiệp trong thành phố.

- Những sinh viên đã tham gia cho đến nay, thông qua việc ở trọ nhà dân đã trở nên sâu sắc hơn trong việc giao lưu, nhiều sinh viên và gia đình bản xứ tiếp tục tương tác với nhau kể từ đó.

- Thật vui mừng khi thấy nhiều sinh viên hiện đang làm việc trong nhiều lĩnh vực khác nhau với vai trò là cầu nối giữa Nhật Bản và Việt Nam, sử dụng những kinh nghiệm quý báu để đi du học tại các trường đại học ở Nhật Bản hoặc tìm việc làm tại các công ty Nhật Bản.

- Tôi hy vọng ngày hôm nay, sẽ có một khoảng thời gian vui vẻ giao lưu với tất cả những người tham gia ở đây, chúng ta sẽ làm sâu sắc thêm tình hữu nghị và thiện chí giữa Hội Fujisawa tại Việt Nam và Thành phố Ichinoseki, đồng thời phát triển hơn nữa sự kết nối giao lưu.

◆**いちのせき大使の委嘱**

- ・ 一関市では、いちのせきの魅力を全国に広く発信するとともに、市のイメージアップ及び知名度の向上を図るため、「いちのせき大使」を委嘱しています。言い換えれば「在ベトナム日本国一関親善大使」のようなイメージです。
- ・ この「いちのせき大使」の取組は、一関市の魅力を日本国内だけでなく、ベトナムを始め国際的にも広く発信するとともに、市のイメージアップ及び知名度の向上を図る活動を目指しています。
- ・ 本日は、ベトナムでの大使の活動を行っていただきたいとの思いから、在ベトナム藤沢会 会長のチャン チュン ユン氏に委嘱します。

◆**Ủy nhiệm của Đại sứ Ichinoseki**

- Thành phố Ichinoseki đã ủy nhiệm cho "Đại sứ Ichinoseki". Với mục tiêu quảng bá sức hấp dẫn của Thành phố Ichinoseki trên toàn quốc, nâng cao hình ảnh và sự yêu mến của thành phố. Nói cách khác, Đại sứ Ichinoseki mang hình ảnh "Đại sứ hữu nghị Ichinoseki của Nhật Bản tại Việt Nam".

-Những nỗ lực của “Đại sứ Ichinoseki”. Với mục tiêu quảng bá sức hút của Thành phố Ichinoseki không chỉ ở Nhật Bản, ở Việt Nam mà còn trên trường quốc tế, đồng thời nâng cao hình ảnh và sự yêu mến của thành phố.

- Hôm nay tôi xin ủy nhiệm ông Trần Trung Dũng, Chủ tịch Hiệp hội Fujisawa tại Việt Nam thực hiện công tác đại sứ tại Việt Nam.